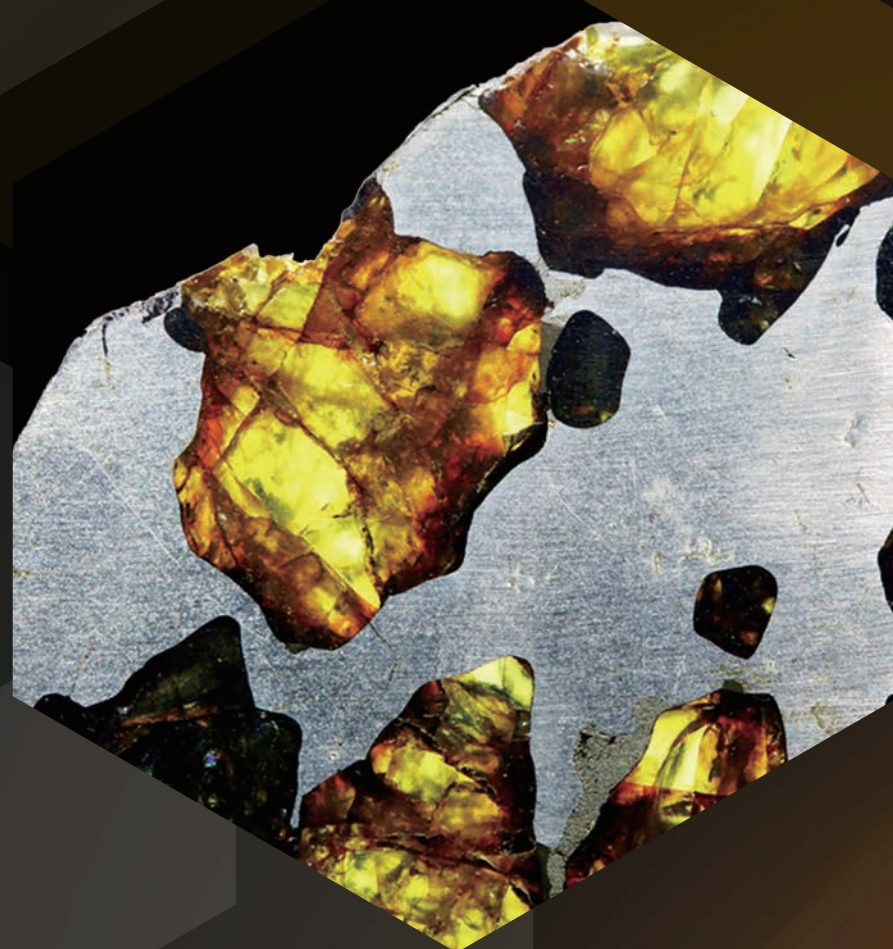




大阪大学総合学術博物館 第12回特別展

The Mineral World

人と鉱物のつむぐ物語



Museum Lecturer
ミュージアムレクチャー

会場：大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館3階セミナー室
定員：30名 参加費：無料
時間：いずれも14:00～15:30
(入場受付は30分前から開始)

申込不要
先着順

※小学生は必ず保護者同伴のこと
※ミュージアムレクチャー終了時に
ギャラリートークを実施

11月3日(土・祝日)

「“石”と人との物語－鉱物の活用と人類の発展－」

講師：石橋 隆 公益財団法人 益富地学会館 研究員
大阪大学総合学術博物館 博物館研究員

11月4日(日)

「石を見つけよう!!－鉱物ハンティングの楽しみ－」

講師：藤浦 淳 鉱物ハンター
産経新聞大阪本社編集企画室企画担当部長

11月17日(土)

「鉱物コレクションと展示－日本、欧米、中国の博物館を例として－」

講師：豊 遙秋 元産業技術総合研究所 地質標本館館長
地球科学者 / 理学博士

12月15日(土)

「美術にみる石－素材以上に魅力を放つ存在感とカラー－」

講師：横谷 賢一郎 大津市歴史博物館 学芸員

Zone 1

プロローグ ～人と鉱物～

《注目展示》

日本の国石“翡翠(ヒスイ)”の展示

人類の文明の発展は“石”の活用と共にある
“石”について
鉱物の研究史

Zone 2

東洋、日本における鉱物の研究史
～本草学から鉱物学へ～

《注目展示》

江戸期に石見銀山で採掘された銀鉱石(関西初公開)
平賀源内作の火浣布

本草学

日本における本草学(江戸期)

前明治時代の日本の鉱業資源の活用

Zone 3

大阪大学の鉱物標本
～研究者の足跡をたどる～

《注目展示》

大阪大学総合学術博物館の鉱物標本展示
(大阪高等学校旧蔵標本、竹林コレクションなど)

大阪大学が所蔵する鉱物標本について

大阪の大地から産する鉱物

大阪大学にゆかりのある研究者が発見した新鉱物
ならびに研究者に献名された新鉱物

Zone 4

鉱物の宝庫“地球”
～地球から宇宙へ～

《注目展示》

火星や月を起源とする隕石(国立極地研究所蔵)

鉱物の宝庫 地球の姿

地球と人類の未来 限りある資源としての鉱物の利用

写真 上から順に

1. 翡翠製の勾玉(翠宝堂所蔵)
2. 石見銀山の銀鉱石・福石(江戸時代に採集、石見銀山資料館所蔵)
3. 蛍石・槌田コレクション(大阪大学総合学術博物館所蔵)
4. 石鉄隕石(チリに落下、益富地学会館所蔵)

日時：2018年10月22日(月)～12月21日(金)
10:30～17:00(入館は16:30まで)

※休館日：日曜日・祝日 ※11月3日(土・祝日)、4日(日)は開館(10:00～17:00)

会場：大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 入場料：無 料

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20 Tel：06-6850-6284

主催：大阪大学共創機構社会学共創本部／総合学術博物館 後援：産経新聞社

協力：石見銀山資料館、公益財団法人益富地学会館、有限会社翠宝堂、国立極地研究所、宇宙航空研究開発機構、
京都大学大学院理学研究科地質学鉱物学教室、大阪大学大学院理学研究科附属基礎理学プロジェクト研究センター、
京都造形芸術大学、平賀源内記念館、株式会社海洋堂、大阪大学21世紀懐徳堂

本展覧会には、日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究(A)16H05900、基盤研究(B)17H02293)による
研究の成果の一部が含まれる

